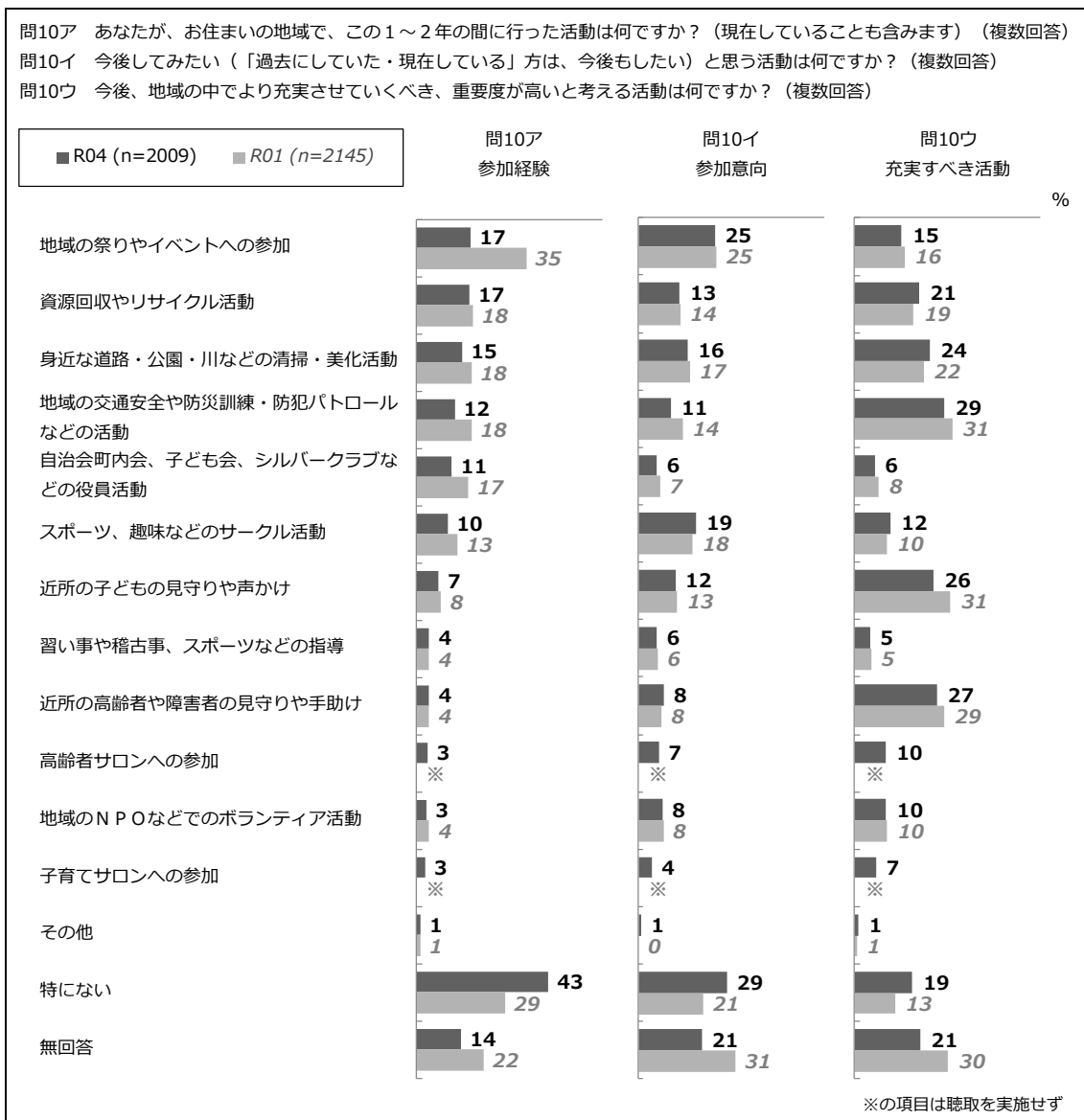


4 地域活動

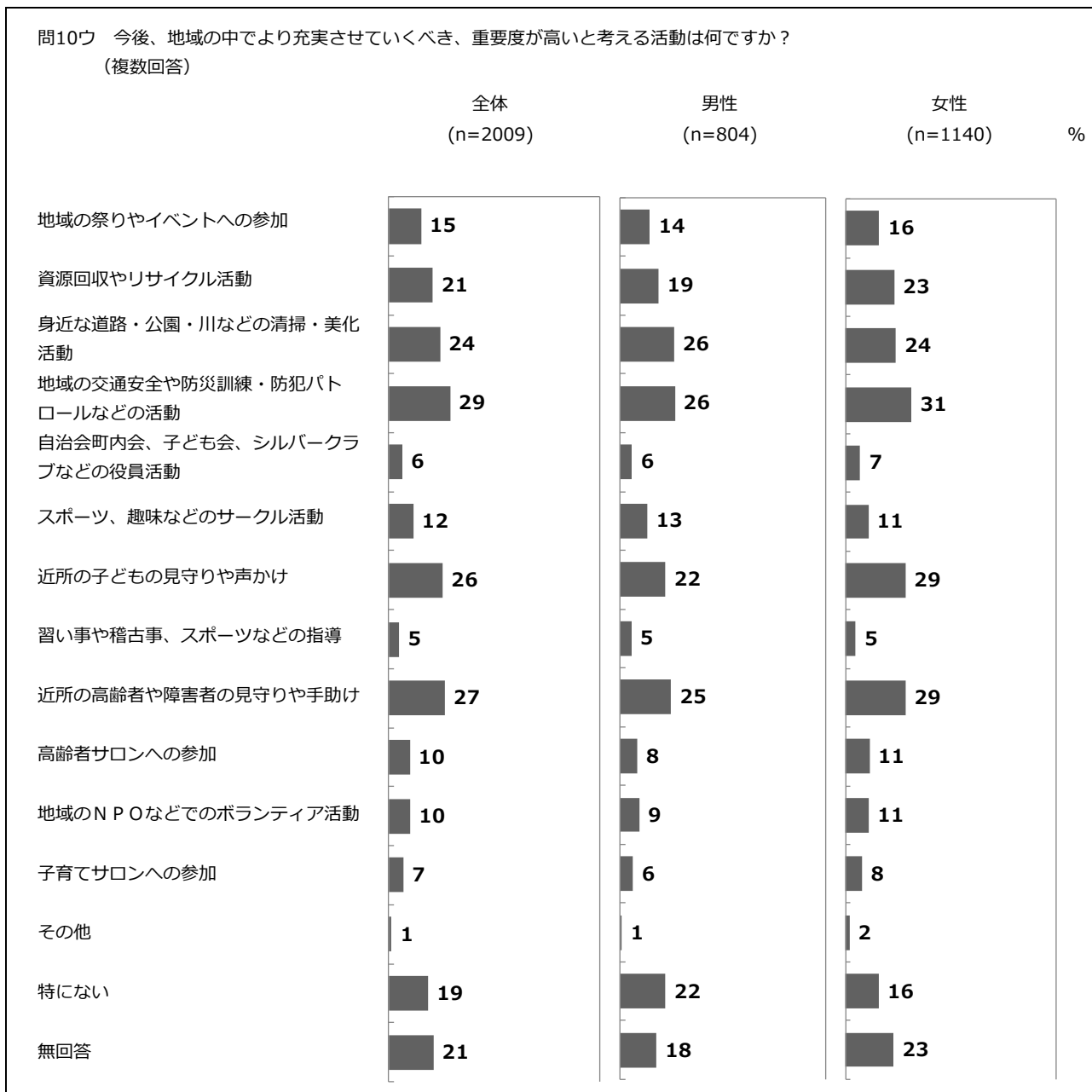
(1) 地域活動参加経験・参加意向・充実すべき地域活動

- この1～2年の間で行ったことのある活動については、「地域の祭りやイベントへの参加」と「資源回収やリサイクル活動」が17%で最も多く、次いで「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」（15%）、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」（12%）でした。また「特にない」が、全体の43%に達しています。
- 今後の活動への参加意向については、「地域の祭りやイベントへの参加」（25%）が最も多くなっています。2番目に多いのは「スポーツ、趣味などのサークル活動」（19%）でした。また、「地域のNPOなどでのボランティア活動」や「近所の子どもの見守りや声かけ」を始めとする参加経験の回答の低かった項目で、参加意向が参加経験を上回る一方、「自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動」や「資源回収やリサイクル活動」は、参加経験に対し、参加意向が下回っています。
- 地域活動の充実すべき活動については、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」（29%）、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」（27%）、「近所の子どもの見守りや声かけ」（26%）などが多くなっており、地域の安全や助け合いに対する地域活動が期待されています。



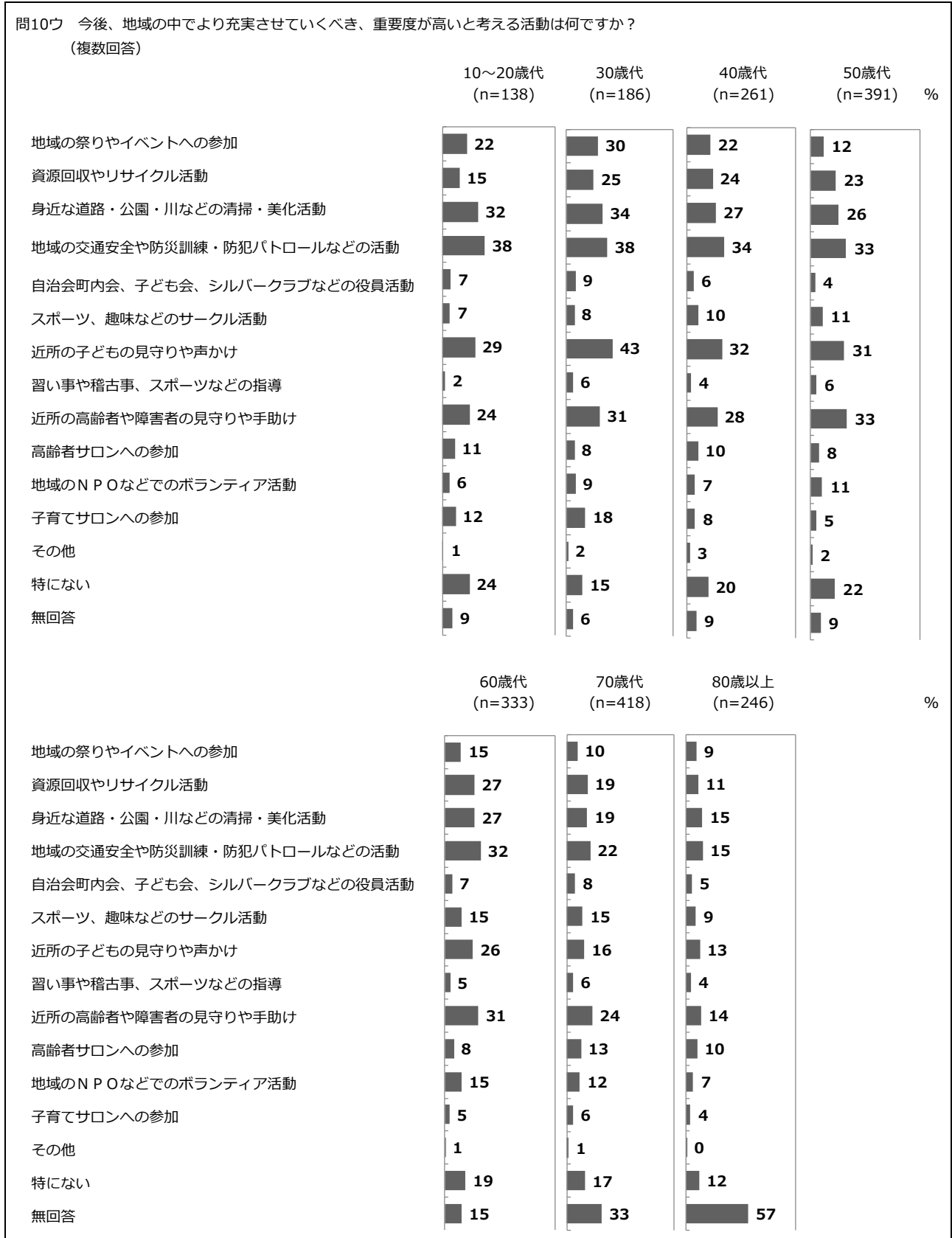
[性別 充実すべき地域活動]

- ・性別で見ると、男女共に「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」の割合が最も多く（男性26%、女性31%）、地域の安全性への関心が高いことが分かります。
- ・女性は「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」に加えて、「近所の子どもを見守りや声かけ」（29%）や「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」（29%）も高く、子どもや高齢者・障害者の見守りが地域の重要な役割であると考えています。



[年代別 充実すべき地域活動]

- ・年代別で見ると、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」は、10～30歳代で約4割(38%)近い回答があり、若い世代で地域の安全性が重視されています。
- ・「近所の子どもの見守りや声かけ」は30～50歳代で、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」は30～60歳代で多く、地域の見守りへの意識が高くなっています。



[自治会加入別 充実すべき地域活動]

- 自治会加入別で見ると、加入している人は加入していない人に比べて、多くの項目で割合が多くなっています。

